

CALREC

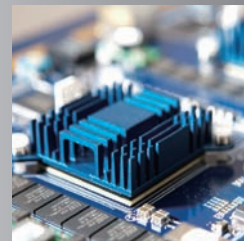
APOLLO

最新のDSP、Bluefin 2 による強力なチャンネル処理能力と比類ない安定性。  
多様化する放送環境に余裕を持って対応する、CALREC デジタルミキシングコンソールの最高峰。

■従来の CALREC Bluefin デジタルコンソールの約 2 倍の処理能力を備えた “Bluefin 2 DSP” を搭載し、圧倒的な処理能力を獲得。

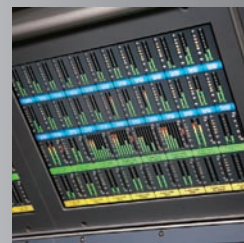
最大プロセッシング数は1,020チャンネル(48kHz)。全チャンネルに6バンドフル・パラメトリック・イコライザー(周波数可変)、ダイナミクスプロセッサー(コンプレッサー/リミッター、エクスパンダー/ゲート)、セカンドダイナミクス(コンプレッサー/リミッター)を搭載しています。さらにプログラムバス、マルチトラック/IFBバス、AUXバスへ同時にルーティング可能。Bluefin 2 DSPの強大な処理能力により、上記全ての操作を同時に行う事ができます。

- ・メインまたはグループ出力が可能な128系統\*のプログラムバス。  
    メイン出力:最大16系統(ステレオまたは5.1chサラウンドメインバスで構成)  
    グループ出力:最大48系統(モノラル、ステレオまたは5.1サラウンドグループバスで構成)
- ・96系統\*のマルチトラック/IFBバス。
- ・48系統\*のAUXバス。
- \*数字は全て48kHz運用時。96kHz運用時のバス数はプロセッシング数510チャンネル、プログラムバス64系統、マルチトラック/IFBバス48系統、AUXバス24系統。
- ・最大78secの入出力ディレイ(2.73sec×1728モノリソース)。



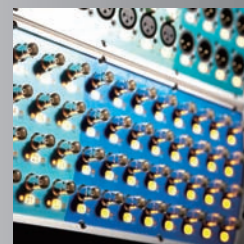
■ユーザーの使い勝手を新たなレベルへ引き上げる革新的な操作性。

- ・最新鋭のマルチカラー有機LED、TFTタッチスクリーンを採用。
- ・最大320フェーダーまで拡張可能。
- ・マルチオペレーターや大規模シーンに対応するフレキシブルなモニタリングシステム。
- ・APFL出力とモニタリングシステムは独立して3系統出力可能。
- ・A/Bバスの12レイヤー構成(最大24レイヤー)。
- ・アサインブルモード、チャンネルストリップモード(ワイルドモード)に対応。



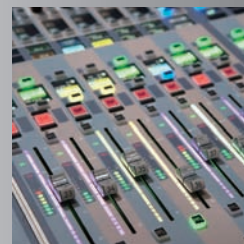
■大規模システムにも対応する Hydra2 ネットワークシステム。

- ・最大8192×8192クロスポイントルーター搭載。
- ・全ての入出力はHydra2ネットワークシステムを経由。
- ・様々な用途に対応するHydra2対応I/O BOXを各種用意。
- ・[コントロールサーフェス]~[DSPラック]~[Hydra 2対応I/O BOX]間は、CAT5eまたは光ファイバーケーブルで接続。
- ・レイテンシーが少ない高品位設計。
- ・ネットワーク上のI/Oは、複数のコンソールで共有可能。



■放送用途に相応しい、最高水準の安全性。

- ・PSU、Bluefin 2 DSP、コントロールプロセッサー、ルーターモジュール、I/O拡張モジュール、オーディオリンクケーブル、コントロールリンクケーブルの全てに、クラス最高水準のオートマッチリダンダントシステムを搭載。
- ・モジュールは全てホット・スワップ対応。コンソールの運用に影響なく、モジュールの取り外しが可能。
- ・コンソールはPCIに依存せず独立してオペレートできるため、PCの故障時やリセット時でも放送に支障なく運用可能。
- ・オーディオ信号を途切れさせることなく、PCおよびコントロール・サーフェスのリセットが可能。
- ・膨大な信号処理機能が集約できる高性能Bluefin 2 DSPカード、最新鋭の有機LEDの採用により低消費電力・低発熱を実現。



## Bluefin 2 DSP を搭載し、APOLLO 同様の能力をコンパクトに凝縮した ARTEMIS も新登場。

最上位機種であるAPOLLOの強力な信号処理能力と優れた操作性を継承し、コンパクト化を実現した放送用デジタルミキシングコンソール。APOLLO同様トップクラスのリダンダントシステムを搭載し、放送用途に相応しい高い信頼性を獲得しています。

- ・最大プロセッシング数は640チャンネル。\*
- ・メインまたはグループ出力が使用可能な128系統のプログラムバス。  
メイン出力:最大16系統(ステレオまたは5.1chサラウンドメインバスで構成)  
グループ出力:最大48系統(モノラル、ステレオまたは5.1サラウンドグループバスで構成)
- ・64系統\*のマルチトラック/IFBバス。
- ・32系統\*のAUXバス。

\*数字は全て48kHz運用時。96kHz運用時のバス数はプロセッシング数320チャンネル、プログラムバス64系統、マルチトラック/IFBバス32系統、AUXバス16系統。



ARTEMIS コントロールサーフェス

## プロセッシング数

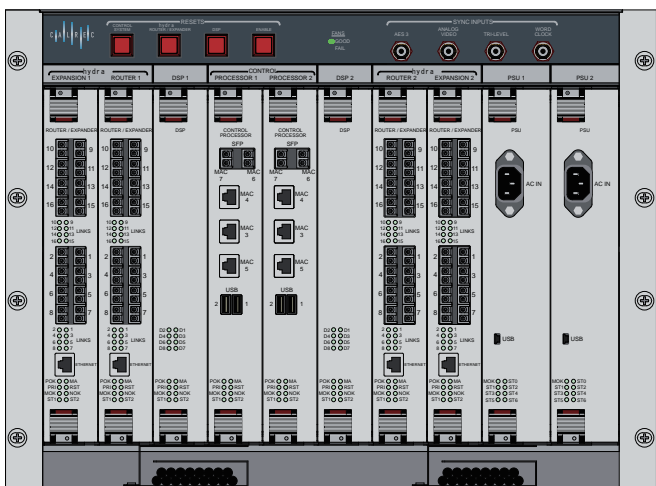
### ● APOLLO

	48kHz	96kHz
チャンネル数	1020	510
プログラムバス(メイン/グループ)数	128	64
マルチトラック/IFBバス数	96	48
AUXバス数	48	24

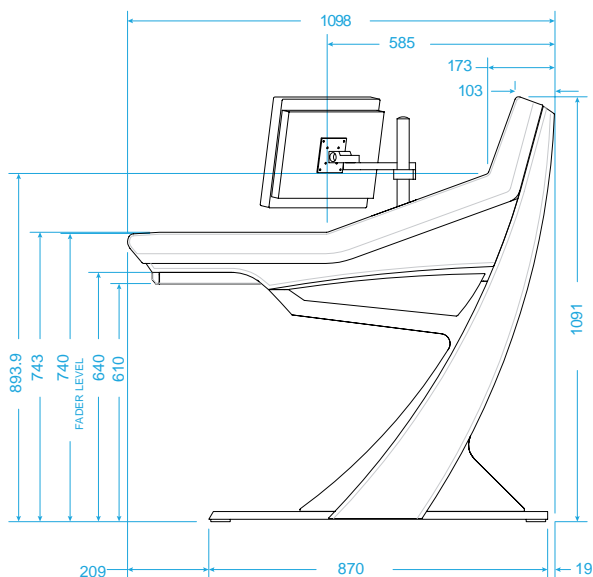
### ● ARTEMIS

	48kHz	96kHz
チャンネル数	640	320
プログラムバス(メイン/グループ)数	128	64
マルチトラック/IFBバス数	64	32
AUXバス数	32	16

## DSP ラック (8U)



## 寸法図



## APOLLO仕様

<b>デジタル入力</b>	
フォーマット	AES/EBU(AES 3), 24bit SPDIF(IEC958 Type2)信号にも対応
インターフェース	110Ω、トランスバランス、5V Pk-Pk 75Ω、アンバランス、BNC、1V Pk-Pk
SRC	24bit 全デジタル入力で切替可能。
SRC THC+N	-117dB@1kHz, 0.00014%
<b>デジタル出力</b>	
フォーマット	AES/EBU(AES3), 24bit
インターフェース	110Ω、トランスバランス、4V Pk-Pk(110Ω負荷時) 75Ω、アンバランス、BNC、1V Pk-Pk
<b>アナログ入力</b>	
ADコンバーター	24bit
入力形式	電子バランス
入力インピーダンス	マイクゲイン: 1kΩ以上 ラインゲイン: 10kΩ以上
感度	マイク/ライン入力: +18/-78dB ライン入力: +18/-24dB
等価入力ノイズ	-127dB(150Ωソース)
歪率	0.003%以下、-1dBFS@1kHz 0.006%以下、-20dBFS@1kHz 0.3%以下、-60dBFS@1kHz
周波数特性	マイク/ライン入力: 20Hz~20kHz, ±0.5dB ライン入力: 20Hz~20kHz, ±0.25dB
入力CMR (Common Mode Rejection)	ライン入力: 70dB以上 マイク入力: 75dB以上
<b>アナログ出力</b>	
DAコンバーター	24bit
出力形式	電子バランス
出力インピーダンス	40Ω以下
歪率	0.006%以下、-1dBFS@1kHz 0.003%以下、-20dBFS@1kHz 0.3%以下、-60dBFS@1kHz
周波数特性	20Hz~20kHz, ±0.25dB
<b>パフォーマンス</b>	
デジタル入力~デジタル出力 (AES/EBU)歪率	0.002%以下、-1dBFS, 20Hz~10kHz
デジタル入力~デジタル出力 (SRC)歪率	0.005%以下、-1dBFS, 20Hz~10kHz
アナログ入力~アナログ出力	20Hz~20kHz, ±0.5dB
周波数特性	
<b>シンク</b>	
48kHz	NTSC/PALビデオ、TTLワードシンク、AES/EBUデジタル入力、内部シンク

- このカタログに掲載されている製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
- このカタログの掲載内容は2009年11月現在のものです。仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- このカタログに記載されている商品名、会社名等は、各社の登録商標または商標です。

**HIBINO**

http://www.hibino-intersound.co.jp/

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12  
TEL: 03-5783-3882 FAX: 03-5783-3881

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp